

間伐材の利用促進による国内の森林・林業の再生

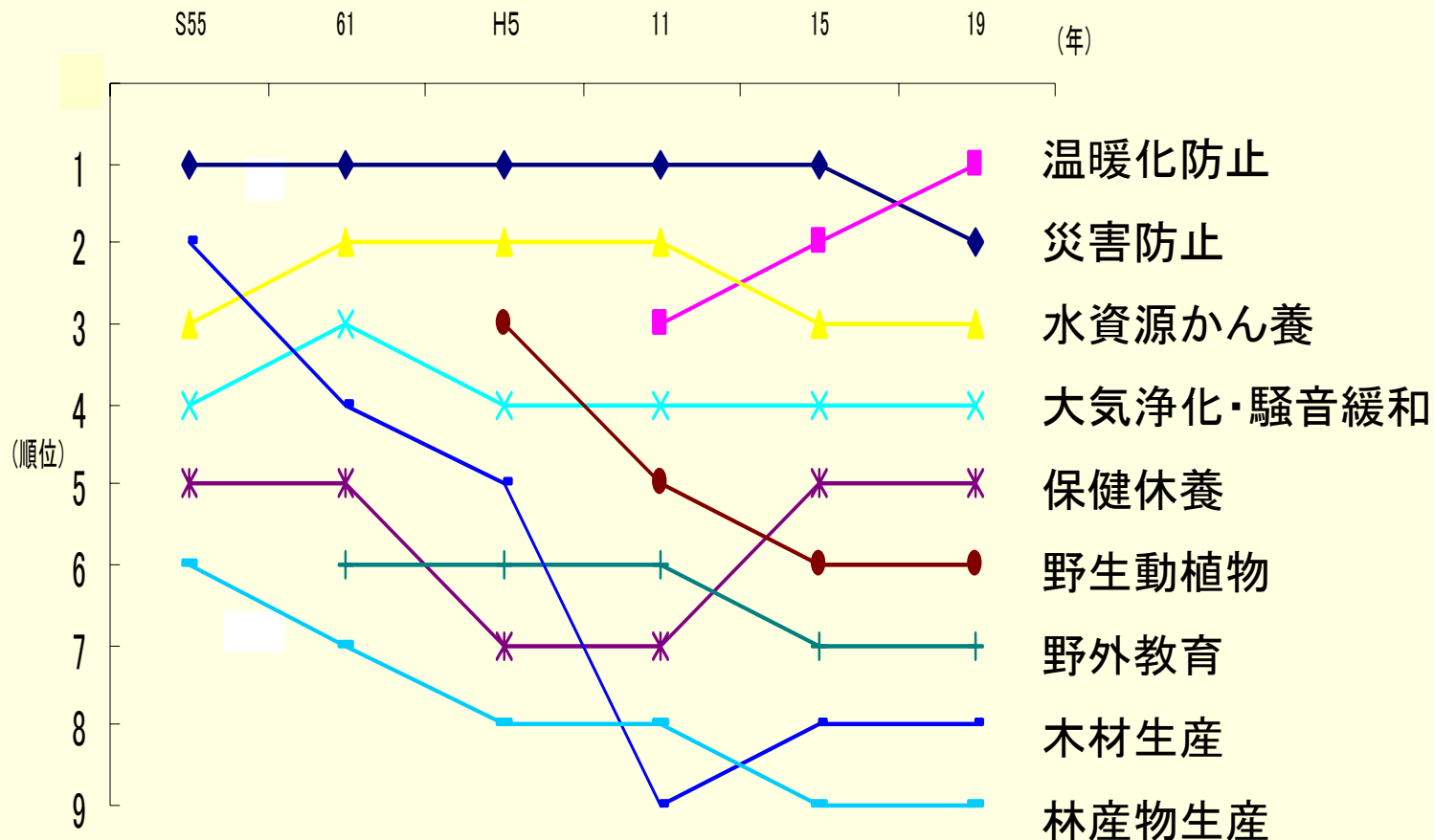


林野庁 林政部 部長

島田 泰助

森林に期待する働き

～世論調査結果～



環境に優しい社会の実現に向けた動き

背景

地球温暖化、化石資源の枯渇への懸念、公害問題等を背景として、持続可能な社会の実現に向けた一層の取組が求められている状況。

環境に配慮した取組の広がり（事例）

- **行政**：グリーン購入法
クールビズ等の国民的運動
- **企業**：環境負荷の少ない製造技術の開発・製品の販売（製造業等）
環境に優しい製品の利用（サービス業等）
社会貢献活動(CSR)の一環としての環境保全活動の実施
- **個人**：環境に優しい製品の選択・購入
ライフスタイルの変化（LOHAS、スローライフ）

企業の取組事例

～エコプロダクツ大賞受賞製品より～

ハイブリッドカー（トヨタ プリウス）

ハイブリッドカーの先駆者として、約30km/Lの燃費を実現。

（第1回受賞）



○ 新型ニッケル水素電池（SANYO eneloop）

約1000回利用可能な充電電池。（第3回受賞）



消費者の取組事例

○ エコ商品の購入



省エネラベリング

省エネ基準の達成度を示す



エコマーク

環境保全に資する
製品



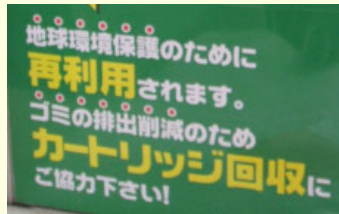
バイオマス
登録No.000000

バイオマスマーク

バイオマスを活用し、規
格を満たした製品を認定

効率的な資源利用

(リサイクルへの協力、エコバッグ等)



リサイクルの
呼びかけ
(家電量販店)

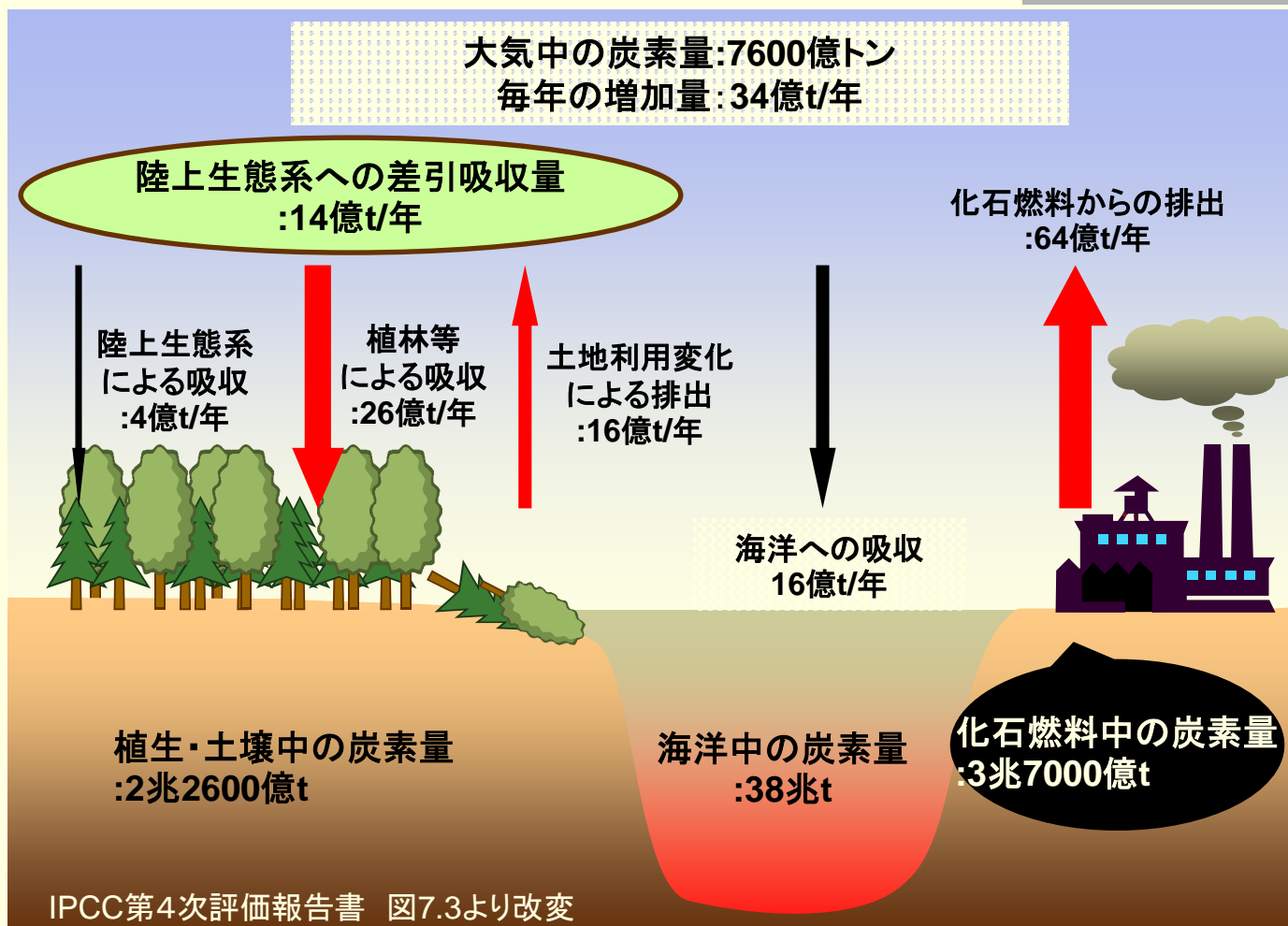
有名ブランド
もエコバッグ
を製造・販売



環境に優しいライフスタイルの実践

(LOHAS、MOTTAINAI運動等)

森林と地球温暖化問題



森林減少と地球温暖化問題

世界のCO2排出の20%が森林減少に起因

→森林は、地球環境問題にとって重要

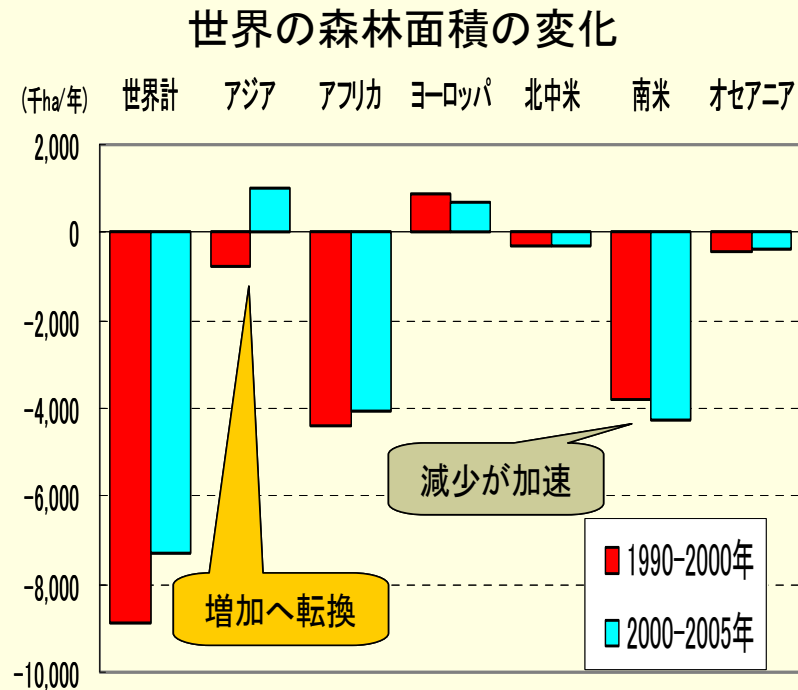
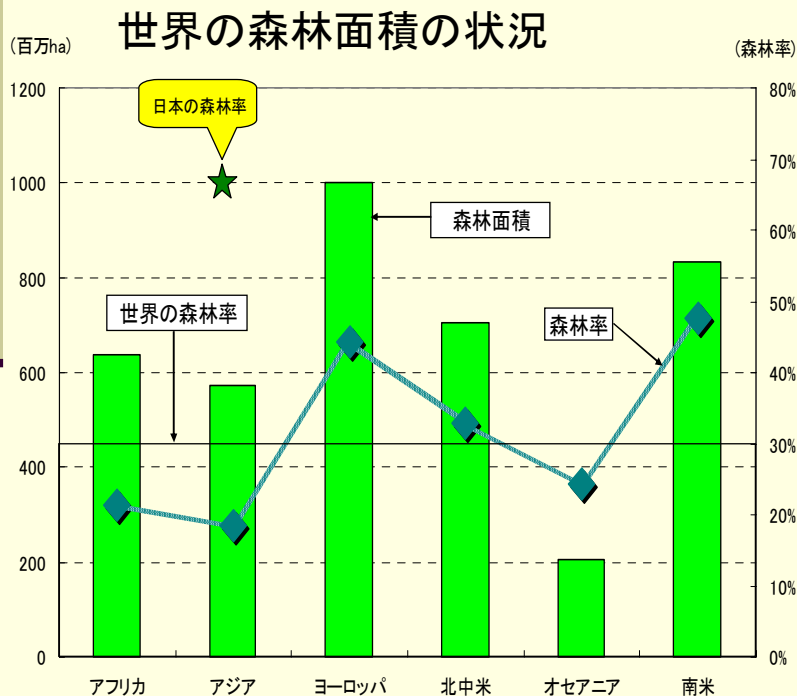
2000年～2005年で毎年
700万haの森林が減少



12月にインドネシアの
バリ島で開かれる国連の
気候変動枠組み条約第13
回締約国会議(COP13)
では、「ポスト京都」の
温暖化対策の枠組み論議
とともに、泥炭地を含む
森林減少をどう食い止め
るかが重要な議題になる
見通しだ。

世界の森林資源の状況

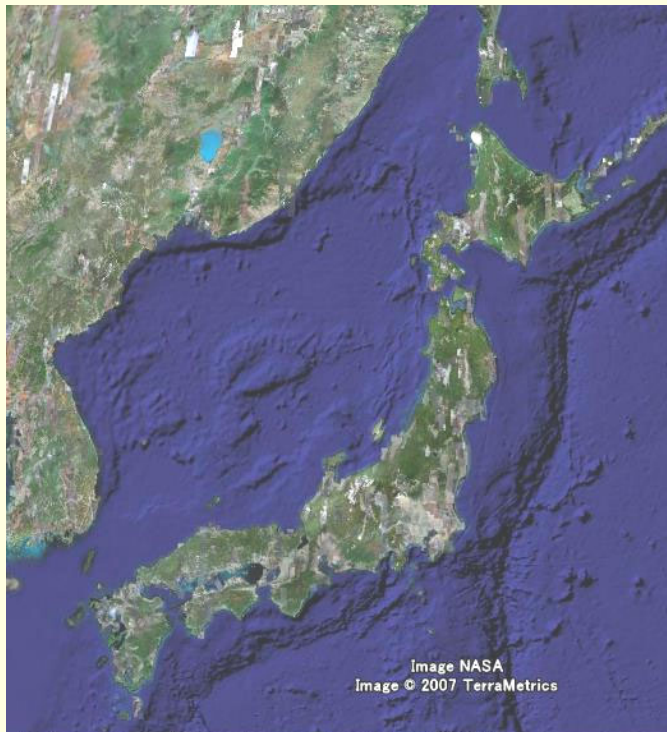
- 世界全体の森林率は約30%
- 世界全体では毎年730万haが減少（日本の森林が3年で消失するペース）
- 地域別に見ると南米やアフリカが著しく減少。アジアは2000年を境に増加



日本の森林

○ 国土面積の7割が森林

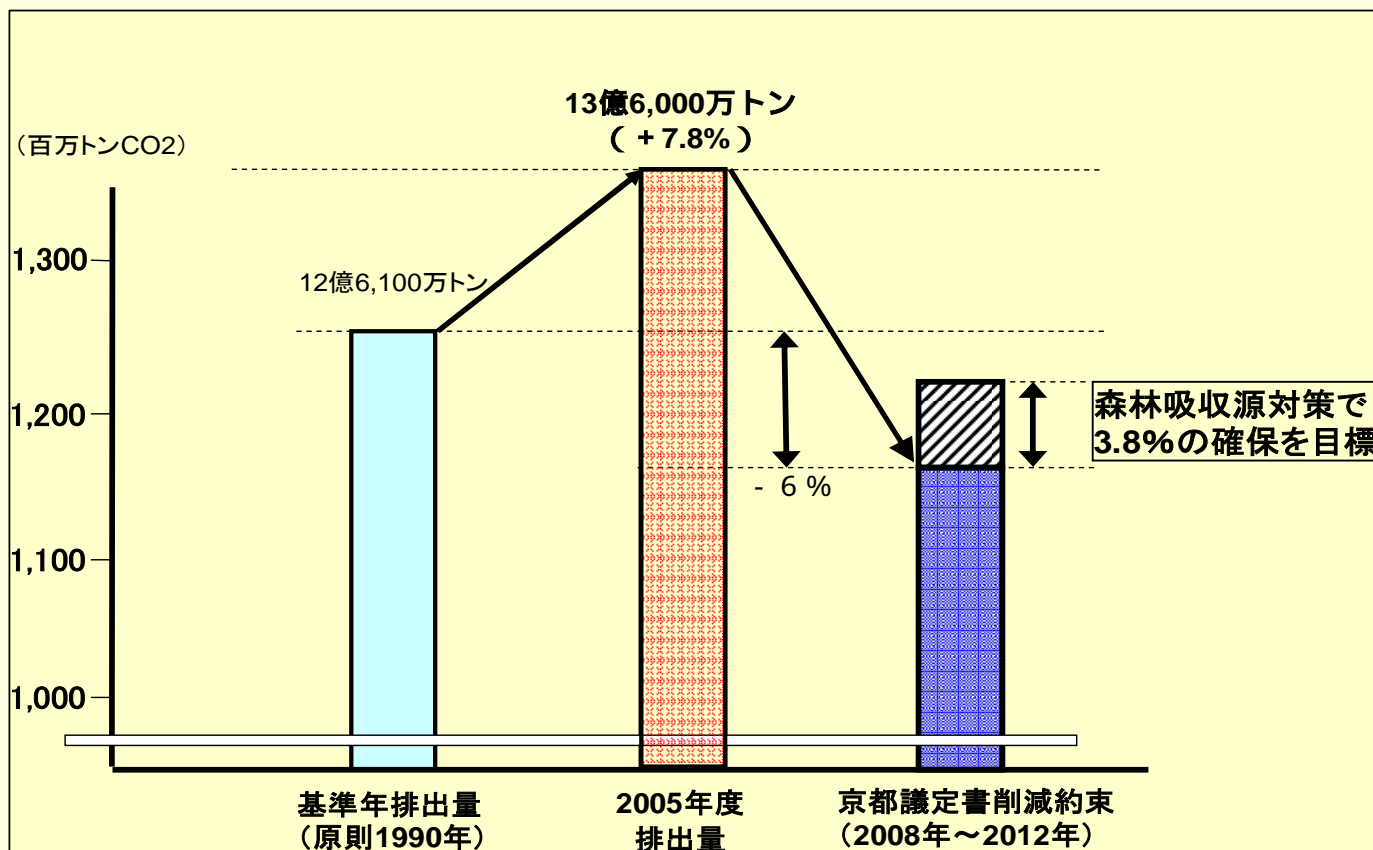
フィンランド・スウェーデンと並ぶ
世界有数の森林国



○ その大部分は急峻な地形



京都議定書目標達成計画における森林の貢献



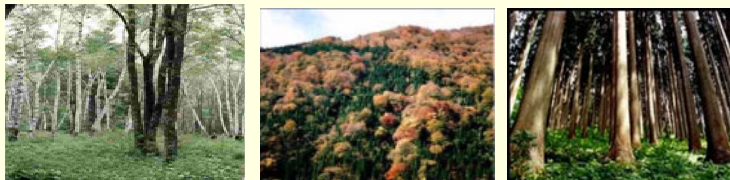
温暖化対策と森林整備

吸収源目標達成には毎年22万HAの追加的 森林整備が必要

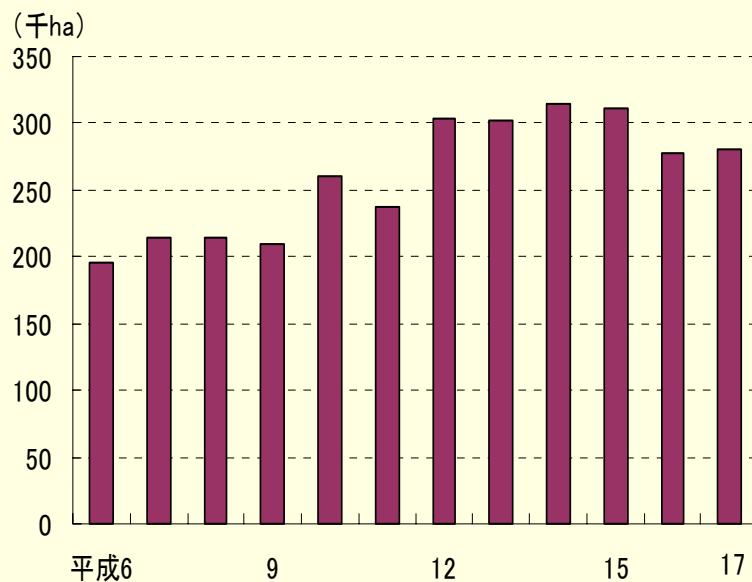
① 2007～2012年の6年間に毎年55万ha、計330万haの間伐を実施



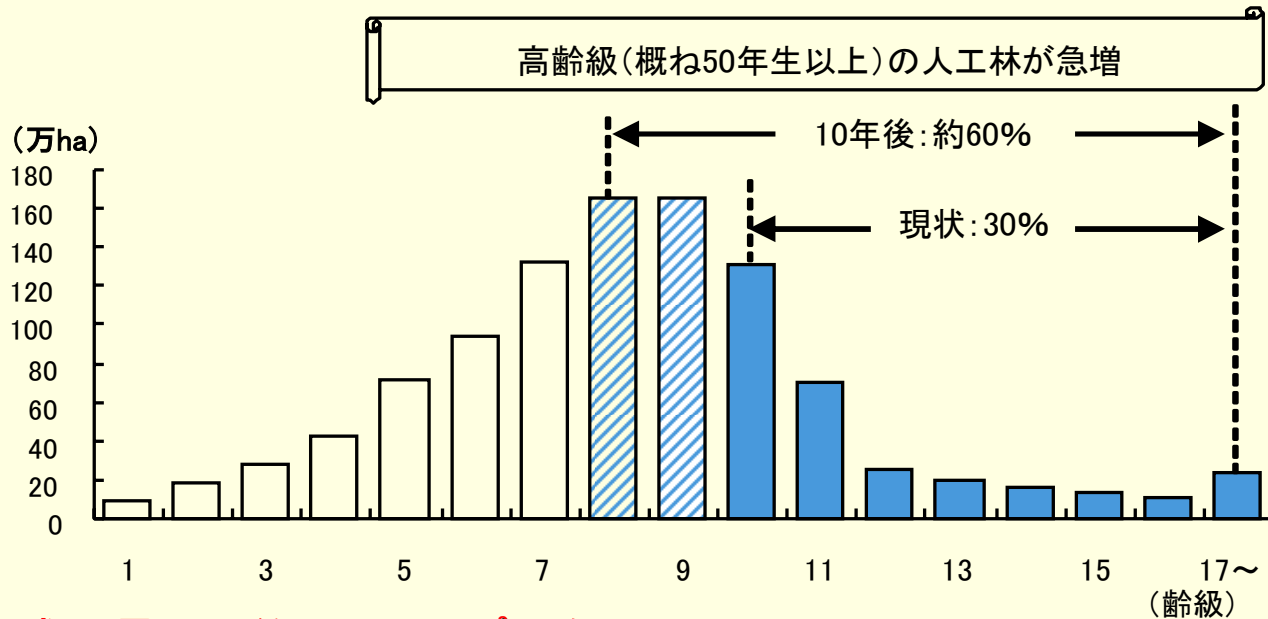
② 100年先を見据え広葉樹林化等多様で美しい森林づくりを推進



間伐実施面積の推移(民有林)



利用可能な人工林資源の充実



人工林の成長量 : 約6,000万 m^3 /年

- ・ 現在の国産材の生産量1,700万 m^3 の3.5年分に相当
- ・ 日本の年間木材消費量(国産材+外材)8,500万 m^3 の70%に相当

日本の人工林は、「育てる時代」から「利用する時代」へ

間伐実行前の人工林

薄暗く、太陽光が林床まで届かない



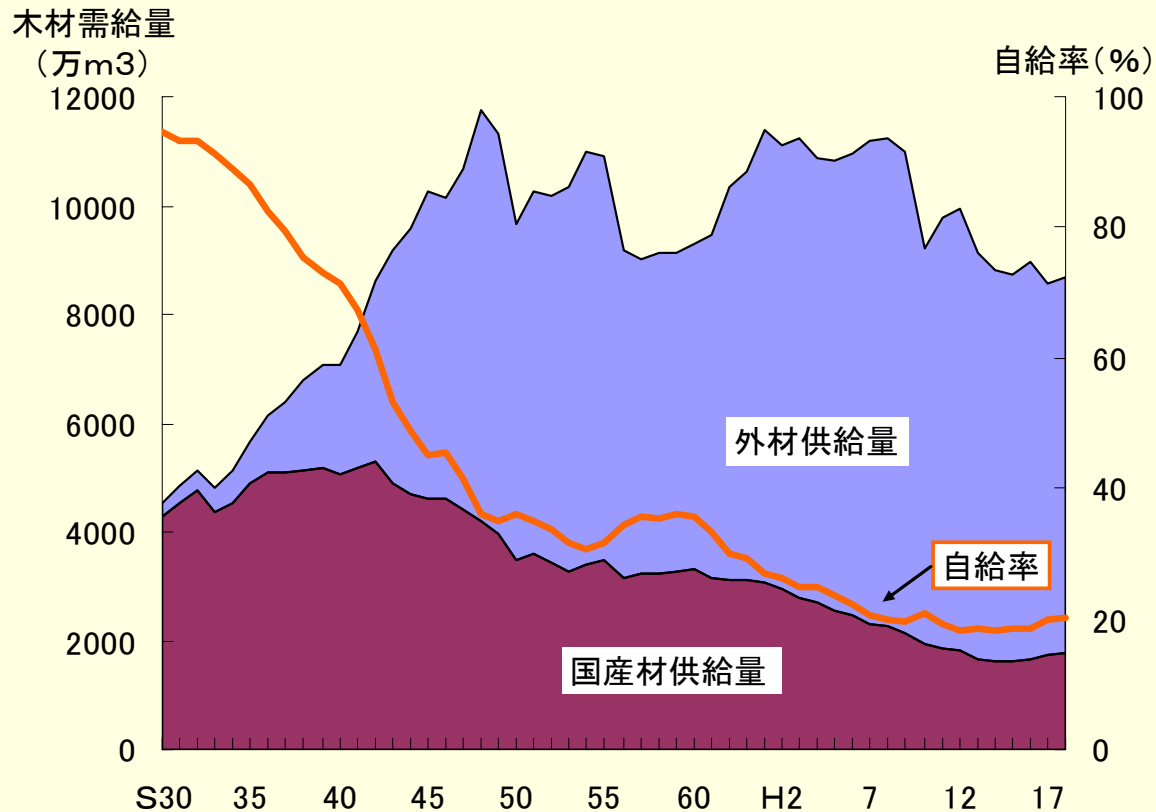
間伐後の人工林

太陽光が林床まで届き、豊かな下床植生が形成



木材利用の8割を占める輸入材

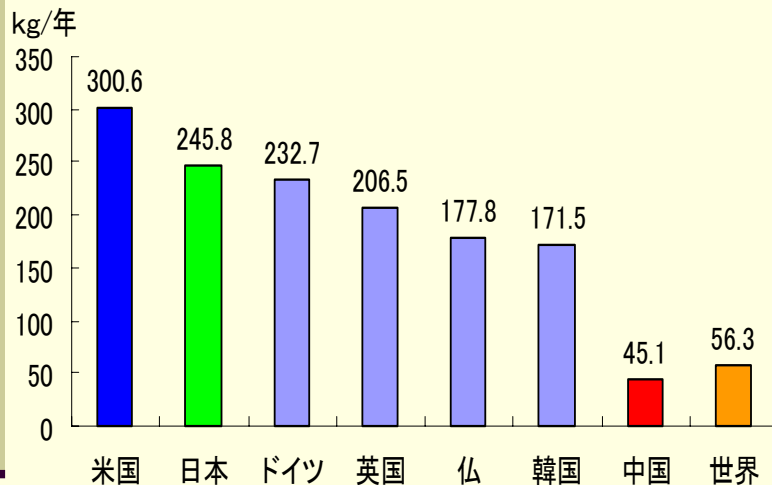
日本は国土の2 / 3を森林が占める一方、世界第4位の木材輸入国



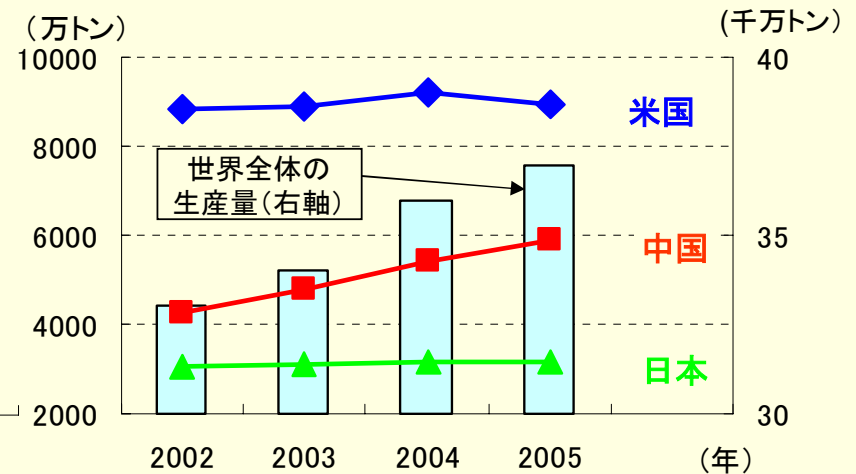
BRICsを中心に増加する木材消費量

～GDPの増大に伴う紙需要の増加～

一人あたりの紙・板紙消費量(2005年)



紙・板紙の国別消費量(上位3カ国)



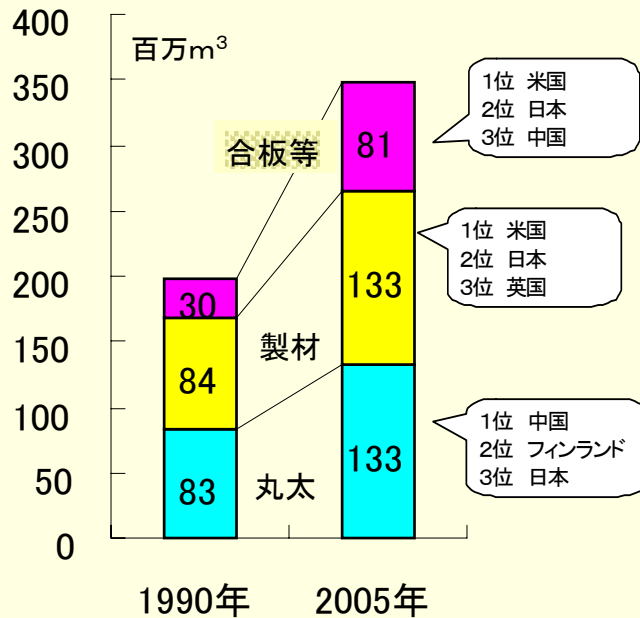
資料: PPI、韓国製紙連合会統計、台湾造紙工業統計、中国造紙協会、経済産業省統計、RISI

○ 中国の1人あたり紙消費量が日本並みになると、中国一国における紙消費量は、現在の世界全体の生産量に匹敵

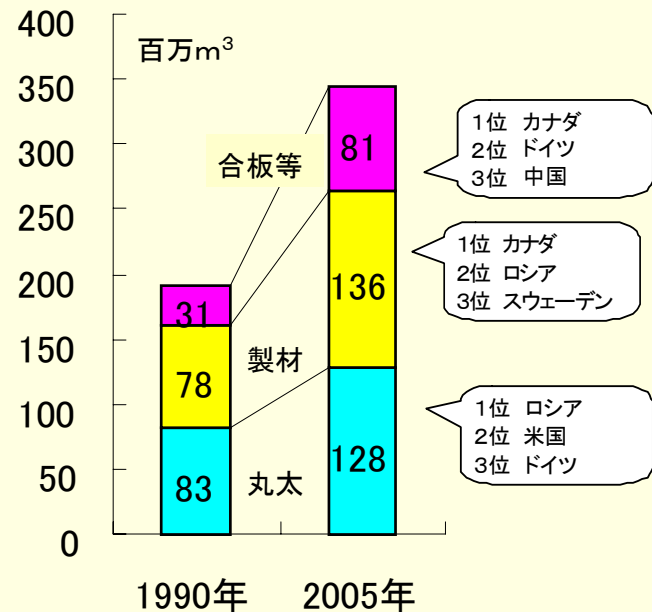
急増する世界の木材貿易量

世界の木材貿易量はここ15年間で約1.8倍増加。

世界の木材・木材製品輸入量



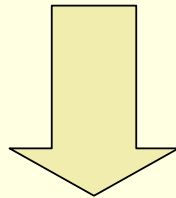
世界の木材・木材製品輸出量



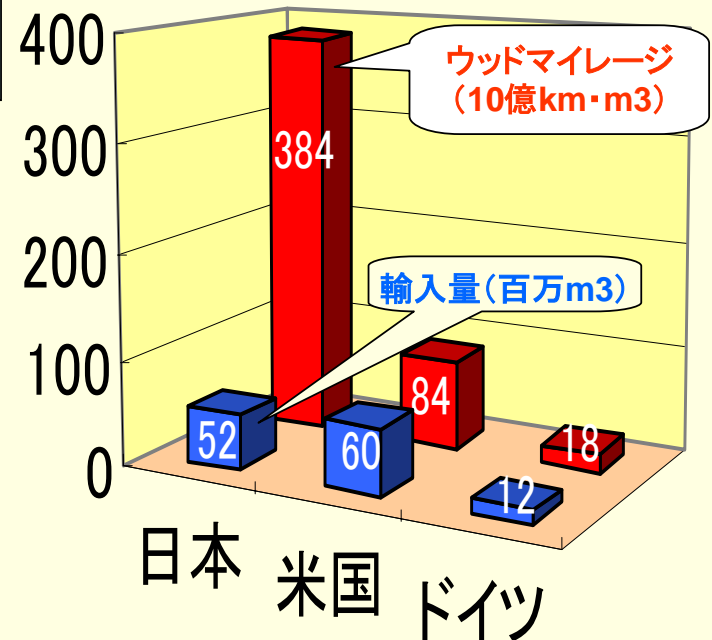
圧倒的に高い日本のウッドマイレージ

$$\text{ウッドマイレージ} = \text{輸入量} * \text{輸送距離} * \text{輸送手段 (係数)}$$

日本は輸入量に対してウッドマイレージが大きい
= 輸送に費やすエネルギーが膨大



国内資源を利用することが、
世界的な環境負荷を軽減

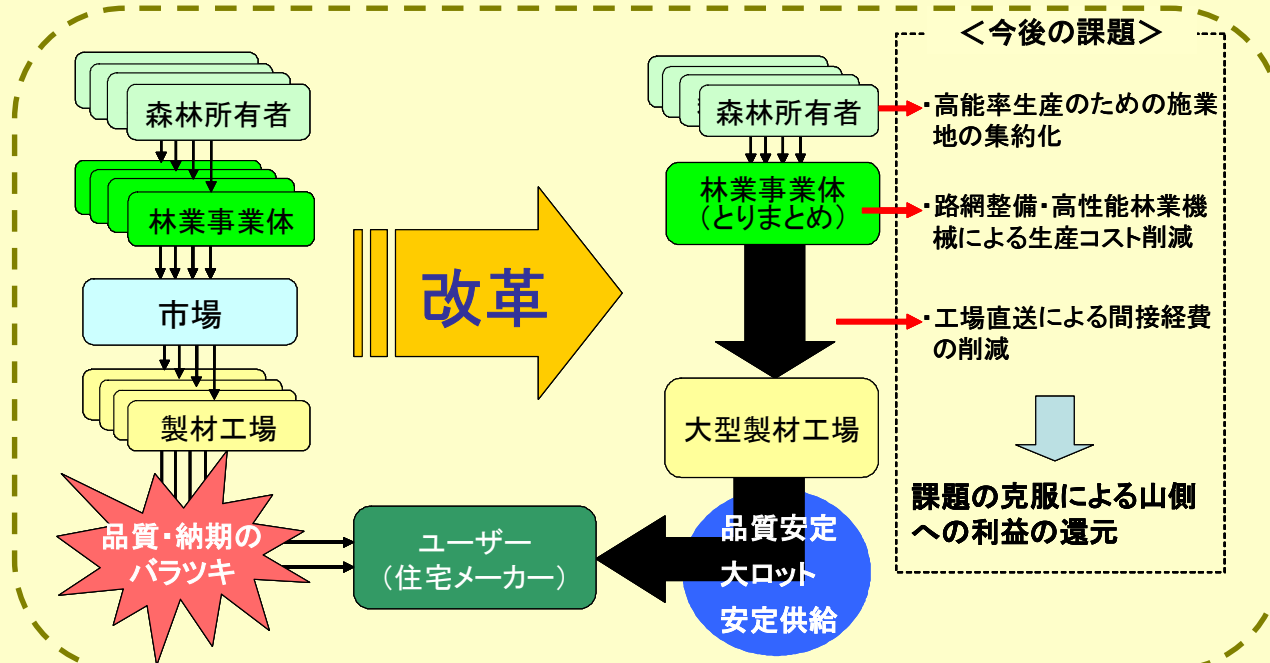


木材を利用することによる 森林・林業再生への取組

間伐を必要とする人工林の増加に伴い、
「利用されないことが森林荒廃につながる時代」が到来

→ 森林の健全化のためには、**林業の採算性の向上による林業再生が不可欠**

搬出コストの削減・流通の改革・需要の拡大等の取組を推進



「美しい森林づくり推進国民運動」と 「木づかい運動」

－10月は木づかい推進月間－

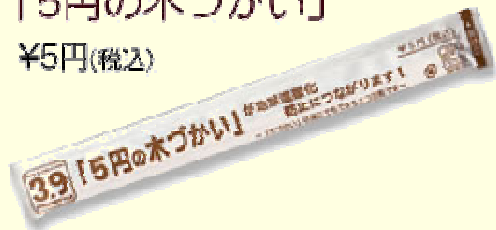


○ 国産材利用に係る普及啓発活動を強化し、国民運動としての「木づかい運動」をH17より実施

- 3.9グリーンスタイルマークを通じた普及啓発
- シンポジウムやセミナー等の開催
 - 一般向けシンポジウム
 - 企業の物品調達者向けセミナー
 - 木づかい感謝状の贈呈

「5円の木づかい」

¥5円(税込)



「木づかい」は、
誰にでもできるエコ活動です。

日本では、国産の木材があまり使われていません。
このため、手入れが行き届かないヒノキ、スギなどの人工林が増えています。
植える、育てる、収穫する、上手に使うというサイクルが、CO2をたっぷり吸収する元気な森をつくれます。
「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動。
木を使うことから、すべてが始まります。



10月は木づかい
推進月間です。

国産材を
使いましょう。



プロ野球マスターズリーグは、「木づかい応援団」として国産材の利用推進を応援しています。



林野庁 <http://www.rinya.maff.go.jp> 財団法人 日本木材総合情報センター <http://www.jawic.or.jp>

「木づかい」を通じて、「美しい森林づくり推進国民運動」に参加しましょう。

3.9グリーンスタイルマークは、国産材利用促進キャンペーンのシンボルマークです。

もう一つの課題

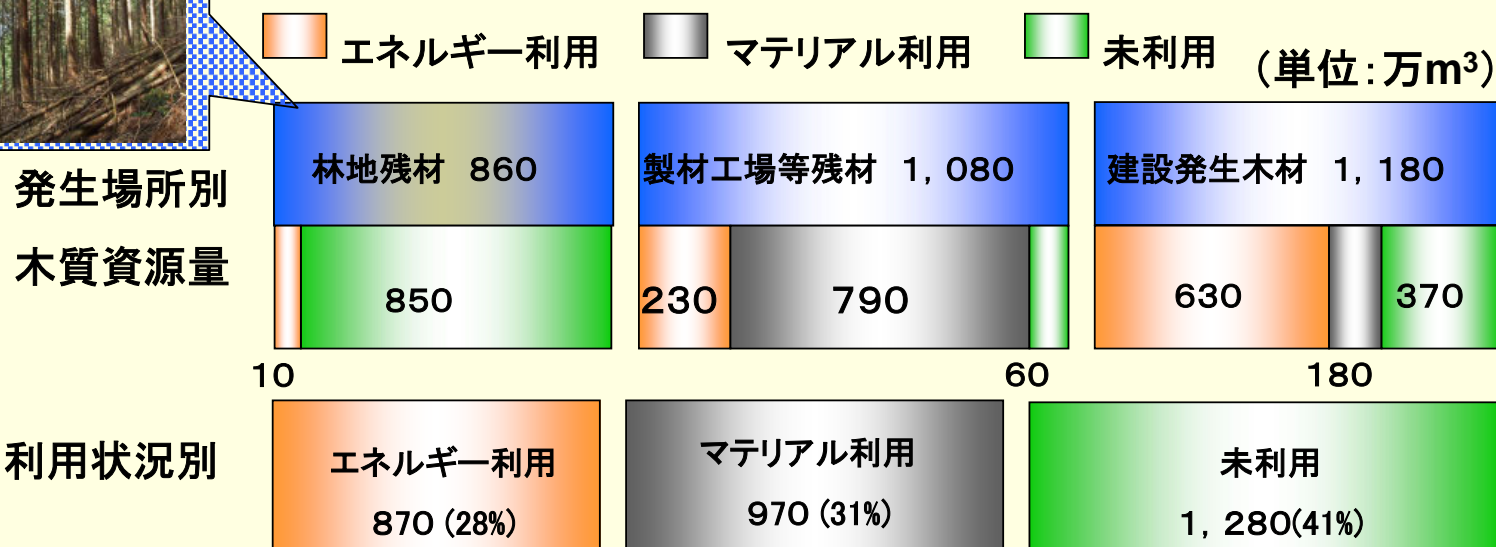
～利用されずに放置された間伐材～

間伐をすすめるには、間伐材の利用が重要



大量に存在する林地残材

○ 木質バイオマスの4割は未利用



(資料) 林野庁「木材需給表」

農林水産省「農林水産統計(木質バイオマス利用実態調査(平成17年))」

国土交通省「平成17年度建設副産物実態調査」、(財)日本住宅・木材技術センター
報告書等により林野庁で推計。

流木流出による被害



2007年10月 台風5号による流木被害
(延岡市)

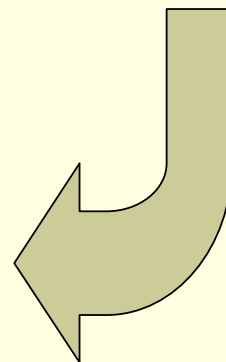
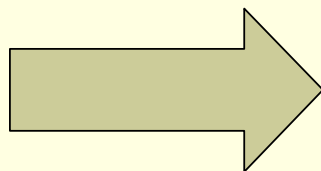


2005年9月 台風14号

広島県広島港湾振興局 提供

未利用間伐材の有効利用 (1)

(バイオマス発電)



未利用間伐材の有効利用 (2)

(紙製品への利用)

○ カートカン

国産材を30%以上使用した飲料缶。
売り上げの一部を森林保全に活用。

(第3回エコプロダクツ大賞受賞)



○ 間伐材使用の紙製品

間伐材を原料とした封筒
等の紙製品

新しい素材のeCOスタイル

国産紙をもうひと回り

間伐材で、封筒・名刺・はがきを
差別化してみませんか？

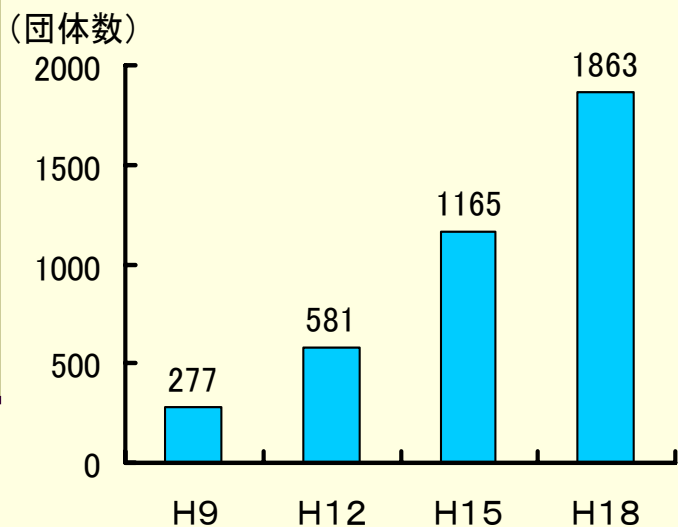


今なぜ間伐紙なのか？

- 1 . 860万 m^3 の林地残材を有効利用することが重要。
バイオエタノールや燃料ペレット等は、将来的には可能性が高いが、現状では紙への利用が最も現実的。
- 2 . 林地残材を利用する間伐紙の運動は、再生紙の運動と同じような組立てと出来る可能性。
- 3 . 森林への関心の高まり、森林のために何かをしたいという人々の思いを具現化する身近なツールとしての期待。

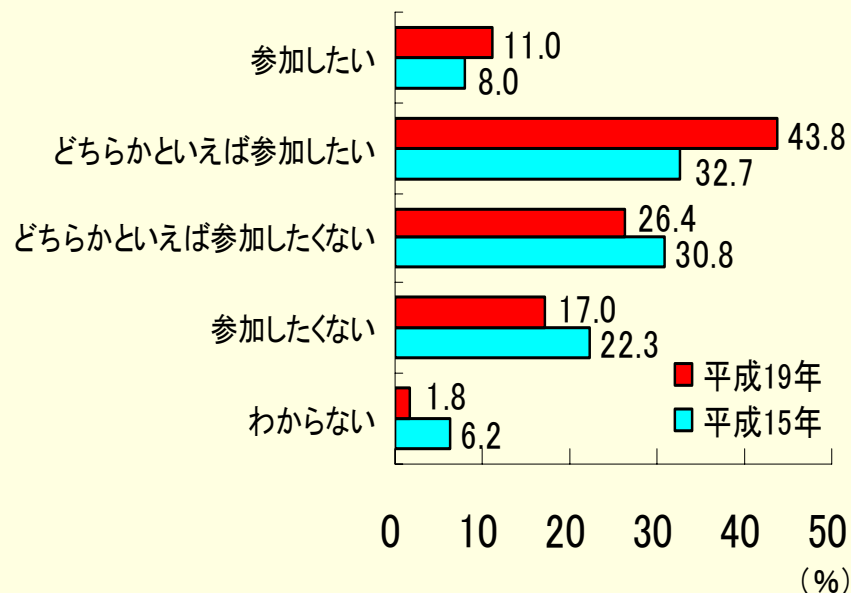
森林ボランティア活動への関心の高まり

○ 森林ボランティア団体の増加



ここ10年間で約7倍に増加

○ 森林づくりボランティアへの参加の意思



過半数(55%)の回答者が参加の意思
(前回比:14%の増加)

九州間伐紙による 「国民が支える森林づくり運動」の概念図

